

神と人の子―「半神」とは2019年1月6日英語説教(その1)

世界はこのような多神教的なものに向かっています。家庭連合の組織は、お父様がデザインし、私に下さったマークのことで私を訴えています。ばかげた話です。彼らの行こうとしている方向が分かります。

もちろん私たちは分かっていたのですが、多神教へと向かっているのです。フェミニズム、社会主義、共産主義といった左翼の方針を完全に取り入れています。お父様はその全生涯で、共産主義、社会主義、フェミニズムといった一連の悪に対して反対していたというのに。韓氏オモニの墮落のため、そうした世界全体を受け入れています。

この写真は彼らの夏か冬のキャンプのもので、彼らが作ったTシャツです。全員が「半神(Demigods)」と描かれたTシャツを着ています。とても残念なのは、おそらく彼らが善意を持った人たちかもしれないからです。

しかし、リベラルの、共産主義の議題に飲み込まれています。1つの世界政府の議題です。知らずに完全に常軌を逸した側に来ています。自己崇拝と偶像崇拝を受け入れているのです。自分たちは神だと考え、「半神と描いたTシャツで、大きな力が与えられる」と言って回っているように。それが彼らの信じていることを象徴しています。

我々は「半神」と描いたシャツは絶対作りません。青年たちが神様をこき使う立場をお祝いするともいうようなものです。正常な心を持った教会がそのようなシャツは作りません。キリストを離れ、神様を離れるとどうなるかが分かります。男性に対する、父なる神様に対する、イエス様に対する怒ったフェミニストの憎しみがあります。健全で名誉ある男性に対するこの戦いを作り出した、こういう悪魔的な女性の邪悪さを取り入れてしまったのです。

王妃が韓国語のクイーン・ビー(女王蜂)・プログラムをユーチューブで準備しているのを見て驚きました。フェミニズムを非常に強く攻撃し、その短い歴史を示すことになるでしょう。

聞いたことがあるでしょうが、ベティ・フリーダンという女性がいます。とても悪い魔女か悪魔のような女性です。1960年代に全体的なコンセプトを持っていました。この場にいる全ての女性は、自分で分かっているいなくてもある程度は彼女に洗脳されています。多くの人は目覚めていますので、程度に差はあります。しかし、西洋の女性はこのような悪い女性に洗脳されて育っています。

60年代に彼女が書いた作品が大衆文化で大ヒットしました。彼女は、郊外の女性にはおやっと思ふ瞬間がある

と書きました。子供をサッカーの試合に車で送り届け、洗濯をし、夫のために料理を作る中で、自分は子供の運転手に過ぎず、夫の奴隷であり、洗濯や料理をしているだけなのだろうかと、ふと思う瞬間があるのだと。

みなさん女性たちは、まさにこのようなことにいつもぶつかっています。こうした憤慨した、不満のある態度です。もちろんそのために、ひどい人間になります。重要なのはこの女性が、これについて、女性の内面から不満の種を引っ張り出そうというような論文を書いたことです。

その答えは何かと言えば、政府があなたを助け救ってくれるというものでした。つまりはピンクのパンティーを履いたマルクス主義者だということです。ピンクのパンティーを履いた社会主義者です。フェミニズムだからといって特別なものはないのです。答えは国であり中央集権化した権力だということです。ばかっています。それはマフィアに権力を与えるようなものです。犯罪シンジケートと結婚するということです。最も危険なことです。こうして女性が飲み込まれて行きます。

彼女は何かの雑誌に書いて、女性たちを怒らせたいと考えました。そして、職場で働けばワクワクする、夢を追いかけるのだ、といった嘘を作り上げました。まるで職場で働くことは雑用だらけではないかのように。仕事に就けば普通毎日が雑用だらけです。

ところで子供の送り迎えをして自分が運転手のようだと考えるなら、あなたはひどいお母さんです。なぜなら子供に積極的に関与していないと示すことになるからです。子供のエピソードを解放したり、子供が深いことを理解できるよう会話をしたりすることに全く熱心でないということです。

我々は子供が9歳の時には哲学のことを話しています。王妃は聖書の勉強を教えています。彼らはもう大きくなっていますが、とても高レベルな内容を子供に話していました。とても若い年齢で様々な弁証学の話をしていました。子供は飲み込むことができます。

しかし、自分がただの運転手だと感じたり、限りなく食べ続ける口のために食べ物を料理しているだけだと感じたりしているなら、あなたは熱心な親ではないということです。熱心な親はそうには感じないからです。車で送るのは素晴らしい場であって、深い問題について話しができる事務所のような場所なのです。こういうことが本当に重要です。

ひどいことです。この1人の女性、あるいはこの1つの(フェミニストの)グループの女性たちが・・・ところで彼女たちの多くはその後、最終的に結婚します。結婚は墓場だと言いながら、20年、30年後には結婚します。あらゆる世代の女性の人生をめちゃくちゃにして。彼女にも子供がいたでしょうか。いなかったのですか。それは良かった。

そうしてとても怒りに満ちた、最も不幸な世代の女性たちが生まれました。憎しみと怒りに満ちて。残念ながらそうした態度は全て人生を惨めにします。失敗するように訓練されてきました。

それからもう1人の女性がマーガレット・サンガーです。黒人を根絶するためにブランド・ペアレントフードを始めました。彼女は現在までに5,400万人以上を殺害したことになります。もちろん政府の資金を得ています。言語道断です。ほんのわずかな邪悪な女性が、女性たちを洗脳しました。

例えば女性たちは、結婚が自分たちにとってとてもいい取り決めだということを理解していません。賢い女性は分かっています。40年、50年と人生を独りで生きようとするなら、どうでしょうか。このフェミニストたちは、こういう楽しいこともあるから、などと言います。卵子が尽きてしまい、しおれて死んでしまえば、もう子供を持つことはできません。毎年それが進んでいきます。供給は限られたものです。

時間がたって40歳になり、その後40年、50年独りで生きていかなければなりません。友達がいるというでしょうが、あなたの体はだんだん弱くなってきます。病気になって肉体的にぼろぼろになっていきます。あなたのそばにいて、あなたを尊敬し、あなたに忠実な人はいません。ですから尊敬に値する人を選ぶことはとても重要です。

男性は全て同じではありません。尊敬に値する男性と、そうでない男性では、また尊敬に値する女性とそうでない女性では大きな違いがあります。ですから聖句は、我々を変化へと導きます。

これ(Tシャツの写真を指して)はとても悲しむべきことです。なぜなら若者が間違っただけなのに洗脳されているからです。ナルシズムと偶像崇拝に洗脳されています。自己崇拝に洗脳されています。そのことのために彼らは不幸なのです。自己崇拝することでは全く満足感は得られません。なぜならそれが地球上で最大の嘘だからです。自分が神のような、半神のようなふりをしなければなりません。しかし自分たちでもどれほど惨めなことか分かっています。どれほど自分勝手か分かっています。自分たちがどれほどちっぽけか分かっているのです。そして偽りをまとわなければなりません。本当にひどいことです。

キリストの中で人生を理解し、キリストにあることははるかに自由です。なぜなら我々は、自分の方が清いといって比較したりしないからです。自分たちは罪人であるけれども、キリストの恩寵と慈悲と愛によって救われたのだと分かっているからです。それを知ることでもとても自由になります。キリストに似るように努め、主を追い求め、主に近づくことは自由です。

しかしこういうものを見るのはとても悲しいことであり、本当に神様の心情に痛みをもたらすものです。彼らは善意を持っている人たちかもしれませんが、政治的サタン主義に飲み込まれているからです。

もちろんこういうわけで、狼に従えば最後には裁きの場に至るということです。良い意図を持っていても関係ありません。それでも結局は裁きの場にたどり着きます。羊飼いが狼を罰するために来る時、狼に従う者たちも罰を受けます。決断には重大な結果が伴います。

...

最初の5年が子供の成長で重要な期間だと言われています。その期間は働くのをやめなさい。働いてはいけま

せん。夫に扶養させなさい。子供のためにその5年間を確保しなさい。女性たち、子供より大切なものはありません。修士学位を取ることや、コンピューターでクリックしたり、カスタマーサービスの仕事をしたりすることは重要ではなく、子供がカギです。仕事をしたり学位を取ったりして、なぜ子供のためにしないのですか。

それが現実です。身勝手な女性の世代を作ってしまった。95年とか100年という寿命全体の中で、なぜ文明の次の世代の人生に投入が必要とされるまさにその5年間を選ぶのですか。ませ子供に必要なその5年の期間をわざわざ選んで、学校に戻ったり、仕事をしたりしたいというのですか。

これは研究報告ですが、子供を放棄した場合・・・1週間に20時間託児所に預けたら、子供は母親に育児放棄された場合と同じ症状が出ます。捨てられたということです。1週間に20時間託児所に預けるといのは、長い時間ではありません。月曜から金曜まで1日4時間です。そうすると、親の愛情を受けないことによる落ち込み、不安といった、捨てられたのと同じ症状が子供に出るのです。

最初の5年がとても重要です。知っていた人はどれくらいいますか。5年間に投入して子供の信頼を得なければ、一生苦しみを受けます。愛情を受けなかったことで動揺するようになります。若い夫婦はこれを理解しなければなりません。人生をめちゃくちゃにしないでください。

2019年1月6日英語説教(その2)

韓氏オモニがこれをやりました。彼女は大きな背教行為を行い、大きな異端行為を行い、お父様が私に相続した基盤を全て盗みましたが、それは驚くことではありません。というのも、自分の母として考えてみると、母が家にいる時でも、私は母の作った食事を1度も食べたことはなかったのです。スクランブルエッグでもスパムでもベーコンでも、何であっても1度もありません。母は1度も食事を作ってくれたことがありませんでした。チャーハンでも、オムレツでも。

思い出せるのは母がテレビで韓国ドラマを見ていたことです。韓国ドラマ中毒でした。サタンはロマンチックな世界で女性を虜にします。男性をポルノで引き付け、女性を女性のポルノ、つまりロマンチックなドラマで引き付けます。要するに母はポルノの中毒だったということです。

いつでも、私が思い出せるのはそれだけです。家にいる時でも、お父様が下で話をしている時でも、いつもテレビを見ていました。私の知る限り、私よりもロマンチックなドラマのほうを愛していました。ですから、そう考えてみれば大きな驚きではなかったのです。

彼女は自分の子供たちよりも、自分の欲望を愛し、自分の喜びの充足を愛しました。そういうわけで、残念ながらあのようなひどいことをしたのです。私が母にそうなると話したように、もちろんそのことで、自分自身を滅ぼすことになるのですが、私がそう話したのは、母のことを愛し大切に思っていたからです。(ため息をついて)本当に悲しいことです。

お父様のことで覚えていることと言えば、信八を育てていた時に、お父様は、講演やツアーが終わって時間のある時はいつでも部屋まで入って来られました。孫と過ごすために。1歳にもならない時のことです。信八は覚えていませんが(笑)。何時間も部屋で過ごされました。ただ孫の様子を見て、また私たちと話をしました。時間のある時は通常そうされていました。私が末の息子で、その最初の息子だからです。

信萬が病院から戻ってきた時、お父様はスーツに着替えておられました。写真を撮ってもきちんと見えるように。パジャマみたいなものを着たままではありませんでした。こういうことを覚えています。

私は幼い時に親の部屋にノックもせずに入ることがありました。ただふざけて、反応を見るためです。私がそうするのをお父様は気に入っておられました。それが最も面白いことだと思っておられました。そのようにお父様はとても愛情にあふれておられました。お父様についてそういうことを覚えています。お父様は私に毛筆の書道も教えてくださいました。

言った通り、子供というのは覚えているものです。若い夫婦たち、子供は覚えています。

...

我々は土地の所有について話しました。しかし、誰が何世代もの間その土地を所有するのでしょうか。カナンを占領された時に神様が準備されていたことです。全イスラエル人をそこに入れ、あなたたちの世代がこの土地を守ることになるのだと伝えました。このイスラエル人たちはどうしたのでしょうか。そこに入って「やったー！パーティーだ！パーティーだ！」と言って、神殿を建てず、全てを神様に捧げず、1世代以内に内部から墮落しました。

たくさんの恵みがありましたが、快樂主義に陥ってしまい、神様を恐れ、戒めに従い、本当の関係性を持つ次の世代を育てませんでした。そして約束の地は取り上げられてしまいました。失ったのです。それと同じことです。

私には分かります。日々の暮らしが、ロード・オブ・ザ・リングのような壮大な霊的戦いのように感じられないことを。しかしヨシュア記の、カナンに入ったイスラエル人の日々の暮らしを考えると、彼らは退廃しました。彼らは神様から離れ始め、征服した全ての土地の贅沢を楽しむようになり、子供たちは甘やかされ、共産主義者、社会主義者になりました。自分たちに当然受けるべき資格があると考えました。そして破壊したのです。ただ恵みを楽しんだだけでした。次の世代が悪魔の攻撃に備えられるよう訓練せずに。そして結局のところ悪魔が入ってきて、彼らの恵みを破壊しました。

主権というのは、もちろんそれには土地の所有も含まれていますが、誰がその所有する土地を何世代も通して守るのかということです。あなたを憎み、その名前を消し去るために何でもやろうという裏切り者の子供に乗っ取られれば、主権は終わりです。ただお金を求めてあなたの王国を滅ぼそうという裏切りの子供たちに、奪われる遺産となるのでしょうか。

主権を理解することには、投資が含まれています。死に際に、「子供を見捨てながら、決して利用することのな

い動物学の修士号を取得できて本当に良かった」ということにはなりません。死に際に、子供は捨てられてあなたを憎んでいるためにそこに来ていないというのに、そんなことは言わないでしょう。子供を捨てたことを後悔するのは。子供が捨てられてあなたを憎んでいることが、後悔となります。必ずそのことを最も後悔することになるでしょう。

ローさん証し：聖なる土と石の啓示—2019年1月6日英語説教(その3:最終回)

<ローさんの証し>

3週間ほど前のクリスマス前の週末に起きたことについてお話します。ご存知のように王様の最大の関心は、鉄の杖フェスティバルのことであり、それがおっしゃるような形で種をまくことができるかどうかということです。つまり自由や個人の主権といった考えの種をまくということです。このイベントを通じ、世界中のメディアを迎えようとしています。この準備がとても重要です。

11月の半ばに、國進様は地所の準備について本当に真剣になってこられました。というのも、カー・アームズで行われることになっているからです。そこに600ヤード(約550メートル)の射撃場ができますが、実のところそこは荒地なのです。木は切っていますが、荒地です。ですからその土地の準備のための作業がたくさん必要です。

会場となるところでは射撃が行われますが、山腹にあります。ですからこの山腹を土で埋めなければなりません。國進様の構想では、隣に大きな丘があるのでその場所から資材を持ってくることになります。我々はすでに地面から高さ15フィートに渡って、ある場所を何トンもの石と資材でいっぱいにしてあります。丘は崩されていて、石と土が層になっています。

みなさんに知って欲しいのは、國進様がどれほど責任を持って臨んでおられるかということです。もう6週間に渡って毎日現場に行かれ、削岩機を動かして岩を砕き、それを運んでおられます。離れたところからではなく、ご自分で汗を流し時間を費やして、サポートしているのです。感謝祭からほとんど毎日、暗くなるまで。

数週間前に起きたこととお話したいと思います。我々はこの何トンもの資材を移動する第1段階にありました。私はクリスマス前の土曜日の夜、働いていました。夕方暗くなってきて、キャタピラを止めて…ブルドーザーを運転していたのでそれを止めて、現場を後にして作業車へと歩いて行きました。するとお父様の声が本当に強く聞こえてきたのです。

お父様はすぐ隣に立っておられ、「君は報告祈禱をすべきだ。そして神様にどういう状況か知らせなさい」と言われました。私は「そうですね」と返事をして建物が建てられることになっている、積み重なった場所の上に行きました。

前日に國進様が、全体のレイアウトをどうするべきかという構想を伝えてくださっていて、それが鮮明に心に残っ

ていました。それで私は、我々がどこから始めて、今どこにいて、何をしようとしているかを神様に報告しました。ここが駐車場になって、この土地を高くして、というように簡単な報告祈禱を捧げていたのです。終わった時、この時点で隣におられたのはお父様ではなく、神様がすぐ隣にいるような素晴らしい感動を覚えました。

私は車のほうに60ヤードか70ヤードほど歩いて戻り始め、神様に語り掛けました。神様がすぐそこにおられるのですから、もっと神様と話したいと思いました。私は王様が摂理について我々に説明されたことを話し始めました。私はこう言いました。「あなたは詩編で鉄の杖の到来について預言されました。2000年前には、預言者のヨハネに伝えました。そして今この場所で実現しようとしているのであり、あなたの預言のみ言が世界中に広まろうとしています」

それから、「解放の道を見出すことができた、抑圧された子供たちのことをどう思いますか」と私が言うと、まるで霊の波が押し寄せたかのように、涙が流れ出したのです。信じられないほど涙がこぼれました。私は体を丸めてただ泣き叫んでいました。

神様は苦しむ子供たちに涙を流し、苦悩しておられます。中国のような場所にいる子供たち、またISISに首を切られたクリスチャンたち・・・神様は毎日そうした祈りを全て聞いています。神様のこの涙を私は感じたのです。暗い場所を歩いて車に戻り帰ろうとしましたが、その涙の霊が離れると私の心はとてもしんと澄んで明るくなり、もう一度神様の声を聞きました。「ここは聖地だからあなたは敬礼する必要がある」と言われるのです。

泥の中を歩いていましたが、左膝をつきました。ほとんど真っ暗でしたが、膝をついた時そこに大きな石が見えました。泥の中ではなくちょうど石の上に膝があり、右膝にも別の石がありました。頭を下げたところにもちょうど石があったので、そこに頭を付けました。

この時また別の感情を抱いていましたが、はっきりと感じて、神様に感謝の言葉を述べました。全てを準備していただき、あなたの夢がついに叶うことに感謝します、というようなことを祈りました。

30秒ほどしてから立ち上がってそこを去ろうとすると、神様から別の声を聞きました。「あなたはあの場所に戻って石と土を拾う必要がある」と言われるのです。私は作業車から入れ物を2つ持って行き、砕けた石をいくつかと土を持ってきました。それを王様の所に持って行けば、パレスに持って行かれて、石はキリスト、土は人間であるので、石と土が今合わさって王国のための資材となるというのです。それで私はそうしました。翌朝教会の王様のところに持って行きました。

神様は生きておられます。神様は2000年以上もこのために働いて来られました。神様に讃美を。

<以下、二代王>

何と素晴らしい証しでしょう。すごい体験をしました。信じられないようなことです。彼は実際土と石を持ってきました。世界中のメディアが来ようとしています。かなりの衝撃を受けるでしょう。AK-47やAR-15を持った何

千人もの人々を目にするかもしれませんが、自由を表現し、祝っているだけのことです。

地政学的には世界とパリが燃え、人々が圧政の手、つまり世界政府、ビルダーバーグ・グループ、ダボス・グループ、ロスチャイルド、ジョージ・ソロス、共産主義者、悪魔崇拝者から、解放されようと強く声を上げています。世界中の人々が心の中で叫んでいます。

ブレグジット、フランス、こうしたあらゆる国が…スペイン、ブラジルも。ボルソナロ(大統領)はブラジル人に(米国憲法)修正第二条を取り入れると言いました。信じられないことではありませんか。3年前に我々が修正第二条の世界的革命が起こると言っていたとしたら、どうでしょうか。

知っていましたか。ボルソナロを。私は写真を持っていたので投稿しました。彼はヘンズ・グレーシーと一緒に写っていました。私もヘンズ・グレーシーの流派です。ヘンズ・グレーシーとハウフ・グレーシーがボルソナロ大統領と一緒に写っていました。ブラジルのボルソナロ大統領がデザートイーグルのTシャツを着ているのです。どうしてそれをでっち上げられますか。彼をキングス・レポートに呼ばなければなりませんね(笑)。

デザートイーグルのTシャツです。もちろんデザートイーグルは國進兄さんが所有しているものです(訳注:デザートイーグルは國進様が所有するマグナムリサーチ社が生産している銃)。そこには「準備できている(I'm ready.)」というハッシュタグがありました。Tシャツにそう描かれています。私はインスタグラムに投稿しました。

またグレーシー兄弟が隣にいました。ブラジリアン柔術コミュニティは100パーセント、ボルソナロ支持です。というのも、ブラジルの腐敗が嫌いだからです。そういう人たちが一生懸命に努力しています。彼らの袖章も帯も獲得したものです。

彼は、信じられないことに、ブラジル人は、クリップスだろうがブラッズだろうが、ギャングと同じ競技場に立たなければならないと言っているのです。そしてブラジルはこれから、市民が自己防衛のために武器を所有して持つことができるように、推進していくというのです。信じられないことです。霊的なことです。こういう革命が今起こりつつあります。

フランスがそれを切望し、イギリスがそれを切望しています。彼らは結論、暴力の交渉が分かっているからです。最終的には誰が力を支配するかです。誰が主権を持つのか。それは国を搾取した政府の役人や、大銀行でしょうか。それとも普通の市民でしょうか。市民はサイコパスでなく、搾取者ではありません。ただ放っておいて欲しいだけです。

我々はとんでもない時代にいます。ローが経験した荒野での神様との出会い。大きな前触れだと思います。鉄の杖フェスティバルのことを祈ってください。我々のために、全ての兄弟姉妹のために祈ってください。また世界中で起こっている革命。自分たちのアイデンティティに気づくよう力を与えられた人たち。それは公立学校が教えるような、動物や進化した霊長類ではなく、神様の子供、キリストの共同相続人、神様の王国を継ぐ者だということです。

そしてクリスチャンがそれを理解する時、靈的な力を取り戻すようになります。この世界を支配してきた社会主義キリスト教から逃れるようになります。それは人々が屠られる準備ができた羊だと教えるものであり、人々をライオンとなるように育てないものです。箴言28で「悪しき者は追う人もないのに逃げる、正しい人はししのように勇ましい」と言っているように。この最後の時にはとても重要です。

翻訳:BAMBOOS

出典:サンクチュアリNEWS <https://nqj17437.wordpress.com/>